

高等学校学習指導要領改訂案のポイント

1. 今回の改訂の基本的考え方

教育基本法改正等で
明確になった
教育の理念を踏まえ、
「生きる力」を育成

知識・技能の習得と
思考力・判断力・表現力等
の育成のバランスを重視

道徳教育や体育などの
充実により、豊かな心や
健やかな体を育成

2. 卒業単位数、必修科目、教育課程編成時の配慮事項等

- 卒業までに修得させる単位数は、現行どおり74単位以上
- 共通性と多様性のバランスを重視し、学習の基盤となる国語、数学、外国語に共通必修科目を設定するとともに、理科の科目履修の柔軟性を向上
- 週当たりの授業時数(全日制)は標準である30単位時間を超えて授業を行うことができることを明確化
- 義務教育段階の学習内容の確実な定着を図るための学習機会を設けることを促進

3. 教育内容の主な改善事項

言語活動の充実

- 国語をはじめ各教科等で批評、論述、討論などの学習を充実

理数教育の充実

- 近年の新しい科学的知見に対応する観点から指導内容を刷新(例:遺伝情報とタンパク質の合成、膨張する宇宙像)
- 統計に関する内容を必修化(数学「数学I」)
- 知識・技能を活用する学習や探究する学習を重視(「課題学習」(数学)の導入、「数学活用」「理科課題研究」の新設等)
- 指導内容と日常生活や社会との関連を重視(「科学と人間生活」の新設)

伝統や文化に関する教育の充実

- 歴史教育(世界史における日本史の扱い、文化の学習を充実)、宗教に関する学習を充実(地理歴史、公民)
- 古典、武道、伝統音楽、美術文化、衣食住の歴史や文化に関する学習を充実(国語、保健体育、芸術「音楽」、「美術」、家庭)

道徳教育の充実

- 学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育について、その全体計画を作成することを規定
- 人間としての在り方生き方に関する学習を充実(公民「現代社会」、特別活動)

体験活動の充実

- ボランティア活動などの社会奉仕、就業体験の充実(特別活動)
- 職業教育において、産業現場等における長期間の実習を取り入れることを明記

外国語教育の充実

- 高等学校で指導する標準的な単語数を1,300語から1,800語に増加
- 授業は英語で指導することを基本
(中学校、高等学校合わせて2,200語から3,000語に増加)

職業に関する教科・科目の改善

- 職業人としての規範意識や倫理観、技術の進展や環境、エネルギーへの配慮、地域産業を担う人材の育成等、各種産業で求められる知識と技術、資質を育成する観点から科目の構成や内容を改善

重要事項

- 体育、食育、安全教育を充実
- 環境、消費者に関する学習を充実
- 情報の活用、情報モラルなどの情報教育を充実
- 部活動の意義や留意点を規定
- 障害に応じた指導を工夫(特別支援教育)
- 「はどめ規定」(詳細な事項は扱わないなどの規定)を原則削除

高等学校の各学科に共通する教科・科目等及び標準単位数

[改訂案]

[現 行]

教科	科目	標準単位数	必履修科目		
国語	国語総合	4	○2単位まで減可		
	国語表現	3			
	現代文A	2			
	現代文B	4			
	古典A	2			
	古典B	4			
地理歴史	世界史A	2	□○		
	世界史B	4			
	日本史A	2			
	日本史B	4			
	地理A	2			
	地理B	4			
公民	現代社会	2	「現代社会」又は「倫理」・「政治・経済」		
	倫理	2			
	政治・経済	2			
数学	数学Ⅰ	3	○2単位まで減可		
	数学Ⅱ	4			
	数学Ⅲ	5			
	数学A	2			
	数学B	2			
	数学活用	2			
	科学と人間生活	2		「科学と人間生活」を含む2科目又は基礎を付した科目を3科目	
物理基礎	2				
物理	4				
化学基礎	2				
化学	4				
生物基礎	2				
生物	4				
地学基礎	2				
地学	4				
理科課題研究	1				
保健体育	体育	7~8	○		
	保健	2			
芸術	音楽Ⅰ	2	□○		
	音楽Ⅱ	2			
	音楽Ⅲ	2			
	美術Ⅰ	2			
	美術Ⅱ	2			
	美術Ⅲ	2			
	工芸Ⅰ	2			
	工芸Ⅱ	2			
	工芸Ⅲ	2			
	書道Ⅰ	2			
	書道Ⅱ	2			
	書道Ⅲ	2			
	外国語	コミュニケーション英語基礎		2	○2単位まで減可
		コミュニケーション英語Ⅰ		3	
コミュニケーション英語Ⅱ		4			
コミュニケーション英語Ⅲ		4			
英語表現Ⅰ		2			
英語表現Ⅱ		4			
英語会話		2			
家庭基礎		2	□○		
家庭総合	4				
生活デザイン	4				
情報	社会と情報	2	□○		
	情報の科学	2			
総合的な学習の時間		3~6	○2単位まで減可		

教科	科目	標準単位数	必履修科目		
国語	国語表現Ⅰ	2	□○		
	国語表現Ⅱ	2			
	国語総合	4			
	現代文	4			
	古典	4			
	古典講読	2			
	世界史A	2		□○	
世界史B	4				
日本史A	2				
日本史B	4				
地理A	2				
地理B	4				
公民	現代社会	2	「現代社会」又は「倫理」・「政治・経済」		
	倫理	2			
	政治・経済	2			
数学	数学基礎	2	□○		
	数学Ⅰ	3			
	数学Ⅱ	4			
	数学Ⅲ	3			
	数学A	2			
	数学B	2			
	数学C	2			
理科	理科基礎	2	2科目（「理科基礎」「理科総合A」「理科総合B」を少なくとも1科目含む。）		
	理科総合A	2			
	理科総合B	2			
	物理Ⅰ	3			
	物理Ⅱ	3			
	化学Ⅰ	3			
	化学Ⅱ	3			
	生物Ⅰ	3			
	生物Ⅱ	3			
	地学Ⅰ	3			
	地学Ⅱ	3			
保健体育	体育	7~8	○		
	保健	2			
芸術	音楽Ⅰ	2	□○		
	音楽Ⅱ	2			
	音楽Ⅲ	2			
	美術Ⅰ	2			
	美術Ⅱ	2			
	美術Ⅲ	2			
	工芸Ⅰ	2			
	工芸Ⅱ	2			
	工芸Ⅲ	2			
	書道Ⅰ	2			
	書道Ⅱ	2			
	書道Ⅲ	2			
	外国語	オーラル・コミュニケーションⅠ		2	□○
		オーラル・コミュニケーションⅡ		4	
英語Ⅰ		3			
英語Ⅱ		4			
リーディング		4			
ライティング		4			
家庭	家庭基礎	2	□○		
	家庭総合	4			
	生活技術	4			
情報	情報A	2	□○		
	情報B	2			
	情報C	2			
総合的な学習の時間		3~6	○		

必履修科目を変更した教科
科目構成を変更した箇所